

支所だより

東予・丹原・小松の各総合支所管内での、身近な出来事や話題などを紹介するコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

ゆるキャラ「カブちゃん」奮闘中！
～お腹のハートマークが自慢です～

皆さんは「四国カブトガニを守る会」のゆるキャラ“カブちゃん”をご存知ですか？

東予地区の海岸一帯は、かつて「カブトガニ天国」と呼ばれ、その繁殖地として昭和24年には県の天然記念物の指定を受けるほどでしたが、環境変化などで生息数は減少、



「身長：170cm・体重：重め」の人気者

ついに絶滅寸前の状況となりました。そうした中、カブトガニの保護・研究と環境保全を目的に結成されたのが同会であり、そのマスコットが“カブちゃん”なのです。

「カブトガニが住めない所

には、他の生物も住むことができない」と、自然環境を守るためのPR活動に取り組んでいる“カブちゃん”。とにかく元気で、保育園や幼稚園で子どもたちと遊ぶのが大好き。去年も、産業文化フェスティバルや東予地域文化祭などの行事では引っ張りだこの人気でした。そして多くの皆さんとの交流の中で、環境保護の大切さを伝えています。

また、「ゆるキャラグランプリ2012」では、865のキャラクター中155位と大奮闘したり、えひめこどもの城で行われた「ゆるキャラ運動会」でも、大縄跳びで前回記録を更新する25回を跳ぶなど、“パリュさん”や“みきゃん”らを押さえて、2年連続の大会MVPに輝きました。

今年もいろいろなイベントに参加して地域の皆さんとの交流を深めながら、未来の子どもたちにカブトガニが住める自然環境を残せるよう頑張ります。

どこかで見かけたら声をかけてください。

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

徳能村の義民「庄屋権太夫」
～今も伝わる恩徳をたたえる心～

徳川5代将軍綱吉の時代、徳能村の庄屋は渡部権太夫という人でした。当時の松山藩桑村郡（現在の徳田・庄内・国安・三芳・楠河地区）では、干ばつや重い年貢により村人の生活は困窮を極めていました。そうした状況を見かねた権太夫は、代官所への陳情を行ったりしたもの効果はなく、ついに意を決して江戸表に上り、幕府に年貢の軽減について直訴をしたのです。

ほどなく年貢は軽減され、村内は平和を取り戻すことになりましたが、貞享3(1686)年、藩政を誹謗した罪により権太夫は処刑。あらかじめ妻と離別するなどして、災禍を避けようとしていた権太夫でしたが、その願いはかなわず老母や幼い3人の息子も共に刑場の露と消えたのです。

時は移って昭和58年。徳能西の庵と呼ばれる瑞巖寺改修のために、寺仏像を金仙寺へ移した時のことです。住職が仏像の肩口からわずかにのぞく白い物を見つけました。それは権太夫の義心に感動した当時の村人らによる、5人の安霊を願う連名状でした。村人らは藩をはばかりひそかに庵に集まって、この霊の冥福を祈り続けていたのです。

また、一家断絶となった渡部家に代わって庄屋となった長井家でも、屋敷内に社を建て5人の霊を祀り、明治維新までの二百年余り、権太夫一家を弔い続けたといえます。

徳能地区には、昭和29年に建立された義民「庄屋権太夫之碑」があり、今でも毎年4月29日の春祭りには子ども神輿を出して報恩感謝と合わせて五穀豊穡を祈っています。



「庄屋権太夫之碑」と5人を祀る「五社霊神」

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

近代農業のためのかんがい設備が「憩いの場」に
～大谷池周辺環境整備事業～

かんがい用ため池として大正6年、小松町南川に完成した大谷池は、貯水量 約103万立方メートルで県下第三位の大きさを誇ります。堤体の老朽化などにより、平成12年度から8年をかけて「平成の大改修」が行われましたが、これに続く池周辺の環境整備事業では、地域の小中学生や地元の人に自然観察会やワークショップなどに参加をいただき、さまざまなご意見をお聞きしながら、特徴のある三つのゾーンに分けて公園を整備しました。

まず、植栽された木々によって季節の移り変わりを知ることができる「四季の広場」からは、静かに水をたたえた大谷池の姿を眺め、そして振り返ると道前平野の向こうには瀬戸内海までを見渡すことができます。

この広場から続く「遊ロード」は、堰堤の斜面を利用して造られた遊歩道で、桜の木が多く植えられています。

そして、この遊歩道を下りきると「くつろぎ広場」があり、県の近代化土木遺産である大谷池樋門を取り巻くように青々とした芝生が広がっています。後背にそそり立つ堤体の大きさに比べると小さく見えますが、イギリス積みレンガ造りの樋門の存在感は満点です。

昨年11月末には、池を管理する地元土地改良区主催の総合竣工記念式典があり、関係者など約200人が完成を祝いました。



① トイレや駐車場も整備されている「四季の広場」
② 大谷池樋門と「くつろぎ広場」
③ 竣工記念式典